

人間の壁

(自分にできることをする)

251218

この題を目にしたとき、いったいどんな内容なんだろうと思いました。

人が人にできる優しさや配慮にはいろいろな形があるんだな、自分にできる人への心遣いを迷いなくできるようになりたいなと思いました。

令和7年度 「心の輪を広げる体験作文」入選作品集（内閣府） 小学生区分 最優秀賞
さいたま市立東大成小学校 5年生 吉本 りさ さん

人間の壁

今でも私は一組の家族に感謝しています。それは、二年前のことです。その日は、お母さんとお姉ちゃんと商業施設へ買い物へ来ていました。二階から三階へ移動するのにエスカレーターへ向かっていた時です。突然お姉ちゃんの大発作が起きました。「りさ、お姉ちゃん発作だから、この場所で横にするから止まって。」とお母さんが大きな声で言いました。私はあわてて振り返ってお姉ちゃんを見ました。

「大変だ、沢山の人の前で倒れちゃった。」と思いました。休日で多くの人が行きかっていたので、横目で見て通り過ぎる人、怖いものを見た表情の人が多くて悲しい気持ちになりました。

「どうしよう。」その時、「私は看護師です。何かお手伝いします。「救急車呼びますか。」とお姉さんがお母さんに声をかけてきました。続けて一組の家族が私に声をかけてくれました。「私たちは何もできません。「ただ周りの人から見えないように壁になるので、お姉さんの発作が戻るまで立っているので気にせずに対処してください。」とすごく気になって悲しい気持ちになっていた私ですが、その言葉にほっこりとして、あたたかい気持ちに変わりました。

お姉ちゃんには持病があり、障害者手帳を取得しています。バックにはヘルプマークをつけています。毎月大きな発作が起き、時には転倒してケガをしてしまいます。見ていて私は辛いです。早くお姉ちゃんに合った薬が開発され、発作がなくなることを祈っています。病気はありますが、私にとって世界で一人の大切なお年ちゃんで大好きです。そんなお姉ちゃんのピンチに、多くの人から見えないように立って下さった家族の方に感謝しています。見て見ぬふりをする人がほとんどでしたが、「声をかけてくれた事、そして壁になってくれて心強かったです。何も出来ないと言われてましたが全く逆です。

今後私もそのような場面にそぐうした時は、自分に出来ることでお手伝いしたいと思います。あの時はバタバタしていてしっかりとお礼が言えませんでした。「人間の壁、とても大きく、高い壁でした。そして、あたたかい壁でもありました。「本当にありがとうございました。」と伝えたいです。